

人を表す名詞を派生する造語成分について

田村 泰男

0. はじめに

本稿では、接尾辞を中心に人間を表す名詞を派生する造語成分について調査し、それを記述的に分類する。調査資料としては、稿末に挙げる参考文献及びWeb上で公開されている「日本語俗語辞書」を用いる。なお、本稿で取り扱う対象は和語、漢語に限り、英語の-er,-eeや-anなどから派生した語句は取り扱わない。

1. 人

1.1 「じん」

漢語や地名を表す外来語に付くことが多い。

(1) ある場所（国、地域、宇宙など）や血縁に属する人間を表す。

日本人、フランス人、東洋人、西洋人、外国人、異邦人、日系人、広島県人、
関西人、都会人、地球人、宇宙人、火星入

(2) ある時代に属する人間を表す。

原始人、古代人、現代人、同時代人、石器人、弥生人、縄文人、クロマニヨン人、
ネアンデルタール人、北京原人、ジャワ原人

(3) ある素養や状態を持っている人間を表す。

知識人、常識人、文化人、教養人、器量人、風流人、国際人、趣味人、著名人、
有名人、暇人、自然人、野蛮人

(4) ある社会、分野に所属し（活動し）ている人間を表す。

経済人、財界人、芸能人、業界人、大学人、政党人、茶人、詩人、俳人、
社会人、民間人

1.2 「にん」

多くの場合、前項に漢語を取る。

(1) ある行為や仕事などを行う（行っている）人間を表す。

通行人、発信人、差出人、勤め人、参詣人、借家人、行商人、支配人、発起人、
職人、芸人、料理人、奉公人、小作人、競り人、集金人

ここでは、法律的、社会的に責任ある立場の人間を表すものが多く見受けられる。

管理人、世話人、警護人、後見人、公証人、参考人、代理人、立会人、仲裁人、
媒酌人、弁護士、保佐人、保証人、出頭人、請負人、案内人、相続人、面会人

(2) ある状態にある人間やある性向を持つ人間を表す。

(重)病人、怪我人、死人、貧乏人、苦勞人、遊び人、善人、悪人

1.3 「びと」

前項に和語を取ることが多く、古風なイメージ、詩的なイメージを表すことが多い。

歌人、恋人、里人、死人、知り人、尋ね人、釣り人、付き人、盗人、船人、待ち人、
村人、世捨て人、読み人、天下人

2. 者

2.1 「しゃ／じゃ」

人間を派生する接尾辞の中では、一番用例も多く、幅広く用いられる。多くの場合、前項には漢語を取る。

(1) ある行為を行う（行った）人間を表す。

回答者、管理者、寄付者、教育者、経営者、講演者、賛成者、指導者、宿泊者、
出演者、使用者、消費者、侵略者、推薦者、生活者、生産者、創立者、登山者、
入会者、破壊者、発見者、発表者、報告者、放浪者、命令者、利用者、旅行者

なお、「逮捕者」のように行為を受ける（逮捕される）人間を指す語や、「招待者」のよう
に行為を行う（招待する）側の人間と行為を受ける（招待される）側の人間両方を表す
語もある。

(2) ある状態にある人間を表す。

既婚者、強者、弱者、愚者、賢者、高齢者、死者、死亡者、生存者、単身者、
中毒者、独身者、筆頭者、貧者、部外者、不在者

(3) ある権利や義務、能力、関係などを持っている人間を表す。

縁者、関係者、技術者、技能者、経験者、権利者、権力者、実力者、障害者、
人格者、親権者、債権者、債務者、責任者、知恵者、地権者

2.2 「もの」

「もの」は、単独で用いられることはごくまれで、接尾辞的に用いられる。前項には和
語も漢語も取る。「もの」と結び付く語には、好印象を持って人物を評価する例は少なく、
多くの場合、当該の人物の属性、習癖や経歴などを、程度の差はあるが、見下したり、非
難したりする用例が多い。なお、「若者」は、その属性のみを述べた語と言える。

(1) 比較的好印象を持って評価する場合。

但し、状況によっては反対のニュアンスを伴う場合もある。

愛嬌者、利け者、切れ者、元気者、正直者、ただ者(ではない)、働き者、忠義者、
人気者、幸せ者、褒め者

(2) 見下したり非難の気持ちを持って評価する場合。

荒くれ者、慌て者、田舎者、横着者、怠け者、お調子者、おどけ者、愚か者、臆病者、変わり者、嫌われ者、道楽者、愚直者、強情者、困り者、さらし者、したたか者、邪魔者、痴れ者、好き者、捨て者、拗ね者、世辞者、小心者、他国者、短気者、成り上がり者、道化者、流れ者、慰み者、なぶり者、怠け者、にせ者、のけ者、のんき者、馬鹿者、鼻つまみ者、日陰者、独り者、未熟者、ひょうきん者、よそ者、不孝者、不精者、不忠者、不調法者、不器用者、無礼者、回し者、無宿者、食わせ物、厄介者、よた者、乱暴者、渡り者、笑い者、迷惑者、一徹者、悪者、極道者、ならず者、前科者、入れ墨者、無法者、お尋ね者

3. 手

3.1 「しゅ」

前項に漢語を取り、(いくつかある) 役目の中の一つを責務として担当している人間を表すことが多い。

外野手、内野手、投手、捕手、遊撃手、一塁手、歌手、火手、騎手、旗手、警手、鼓手、助手、選手、舵手、漕手、敵手、電話交換手、砲撃手、射撃手、副手、名手

3.2 「て」

多くの場合、前項には和語を取る。

(1) ある行為、動作をする人間を表す。

歌い手、打ち手(撃ち手、射ち手)、売り手、買い手、書き手、貸し手、借り手、語り手、聞き手、くれ手、もらい手、指し手、仕手、助け手、継ぎ手、作り手、引き受け手、話し手、捕り手、取り手、話し手、弾き手、持ち手、寄せ手、読み手

(2) 当該の行為をする能力が高い人間、或いはその中心人物であることを含意する場合もある。

使い手、やり手、担い手、働き手、乗り手、飲み手

(3) 相手が予想される場合の一方の側(の人間)を表す。

若手・新手/古手、先手/後手、相手

4. 屋「や」

(1) 職業としての店、或いはそれに従事している人間を表す。

酒屋、左官屋、薬屋、肉屋、花屋、写真屋、八百屋、宿屋、石屋、植木屋、餅屋、本屋、時計屋、乾物屋、風呂屋、弁当屋、料理屋、古道具屋、総菜屋、鍛冶屋

(2) ある職業(に従事する人間)の俗称、異称。

事務屋、技術屋、政治屋、当たり屋、殺し屋、運び屋、総会屋、飲み屋、食べ物屋、

選挙屋、広め屋、呼び屋、バツタ屋、だふ屋、的屋、別れさせ屋、取り立て屋
(3) しばしば(よく) そうなる傾向のある人間を表す。

その人間の性行を批判的に捉えている場合が多い。

新しがり屋、お天気屋、がんばり屋、気取り屋、気分屋、やかまし屋、凝り屋、
そそっかし屋、分からず屋、おとぼけや、締まり屋、握り屋、めかし屋、理屈屋、
仕切屋、何でも屋、担ぎ屋

5. 家「か」

多くの場合、漢語と結び付く。

(1) 前項に学問・技芸や政治・経済に関する語彙などを取り、その分野・職業に従事する人間や、それを専門的に行う人間を表す。

画家、芸術家、作曲家、声楽家、文筆家、作家、小説家、美術家、書道家、著作家、
随筆家、著述家、写真家、武道家、空手家、剣道家、柔道家、砲術家、兵法家、
華道家、茶道家、舞踏家、舞踊家、陶芸家、工芸家、染織家、建築家、政治家、
歴史家、法律家、評論家、批評家、酪農家、宗教家、思想家、登山家、発明家、
冒険家、落語家、噺家、資本家、事業家、企業家、起業家、実業家、投資家、
専門家、運動家、活動家、実務家

(2) あることにおいてより顕著な特徴、傾向を持つ人間を表す。

プラスイメージにもマイナスイメージにも使う。

愛煙家、嫌煙家、愛妻家、恐妻家、常識家、感情家、空想家、夢想家、幻想家、
理想家、精神家、情熱家、辣腕家、敏腕家、美食家、健啖家、大酒家、毒舌家、
交際家、外交家、努力家、勉強家、読書家、人情家、艶福家、節約家、儉約家、
経済家、吝嗇家、浪費家、楽道家、不平家、知日家、親日家、社交家、野心家、
策略家、手腕家、理論家、蔵書家、資産家、財産家、金満家、権勢家

6. 師「し」

(1) 先生を表す。

教師、講師、恩師、旧師、良師、老師、先師、軍師

(2) ある分野で特定の技能・資格を持って活動する人間を表す。

医師、看護師、薬剤師、保健師、助産師、調理師、助産師、美容師、理容師、
あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、鍼灸師、鍼灸マッサージ師、調教師

(3) (伝統) 芸能や工芸の分野に従事している人間を表す。

狂言師、能楽師、猿楽師、脇師、楽師、振り付け師、絵師、浪曲師、手品師、
軽業師、道化師、傀儡師、講釈師、講談師、占い師、庭師、鋳物師、塗師、研ぎ師、
仏師、釜師

- (4) ある仕事に従事している人間を表す。
興行師、請負師、手配師、せり師、相場師、獵師、漁師
- (5) ある活動においての行為者の能力、態度に言及して人間を評価する場合。
業師、仕事師、勝負師、世間師
- (6) 宗教の指導者を表す。
宣教師、伝道師、牧師、律師、法師、導師、布教師
- (7) 犯罪に関わっている人間を表す。
詐欺師、山師、地面師、箱師

7. 士「し」

多くの場合、漢語と結び付く。

- (1) ある職業において法律的に公認された資格を持って活動する人間、或いは高い専門性を持ってそれに従事する人間を表す。
会計士、介護福祉士、栄養士、気象予報士、救急救命士、行政書士、公認会計士、計理士、建築士、航海士、航空士、司厨士、司法書士、消防士、整備士、弁護士、弁理士、無線整備士、マンション管理士、理学療法士、機関士、保育士、看護師
保育士、代議士、宇宙飛行士、棋士、文士、楽士、弁士
- (2) 所定の学業を修めた後に得られる資格或いはそれ持つ人間を表す。
博士、修士、学士、専門士、神学士、文学士
- (3) 素養、志の高い男性を表す。
紳士、名士、高士、人士、志士、烈士、隠士、国士、介士、壮士
- (4) 侍、兵を表す。
武士、剣士、藩士、郷士、浪士、隊士、兵士、戦士、騎士

8. 主

8.1 「しゅ」

多くの場合、漢語と結び付く。

- (1) 国の統治者を表す。
君主、国主、領主、藩主、暗主、名主、英主、幼主、庸主
- (2) 祭事などを中心になって行う人間を表す。
祭主、喪主、施主、願主
- (3) 宗教（宗派）開いた人間、或いはその中心人物を表す。
救世主、造物主、教主、法主、院主、門主
- (4) 何かを所有している人間、或いはそこにおける中心人物を表す。
庵主、館主、社主、船主、店主、馬主、当主、戸主、亭主、盟主

8.2 「ぬし」

前項に和語を取る場が多いが、漢語とも結び付く。

- (1) 一家の主人を表す。

世帯主

- (2) 何かを所有している人間を表す。

株主、持ち主、地主、道場主、荷主、馬主、船主、宿主、家主

- (3) ある動作・行為を行う（行った）人間を表す。

依頼主、営業主、飼い主、買い主、貸し主、借り主、願い主、落とし主、事業主、
広告主、雇用主、雇い主

9. 方「かた／がた」

- (1) 相手が予想される場合の一方の側（の人間）を表す。

買い方、売り方、貸し方、借り方、聞き方、敵方、味方

- (2) ある組織内での係やそれを担当している人間を表す。

狂言方、子方、囃し方、女方、道化方、花車方、賄い方、天文方、会計方

- (3) ある性癖、状態を持った人間を表す。

うるさ方、お偉方

10. 民「みん」

- (1) ある地域に居住する人々を表す。

住民、県民、府民、国民、市民、町民、村民、地元民、領民、先住民、土着民、

- (2) ある身分・状態にある人々やある仕事に従事する人々を表す。

庶民、平民、臣民、賤民、避難民、貧民、富民、文民、良民、農民、遊牧民

11. 坊「ぼう」

様態を表す語を伴って、そういう状態・性癖を持っている人間を表す。前項に和語を取ることが多く、結び付く語によっては、「ぼ」「んぼ」「んぼう」となる。

赤ん坊、朝寝坊、暴れん坊、甘えん坊、慌てん坊、卑しん坊、食いしん坊、
怒りん坊、利かん坊、黒ん坊、けちん坊、でくの坊、裸ん坊、風来坊、見栄坊、
忘れん坊、つくしん坊

12. 漢「かん」

ある性癖を持つ、或いはある状態にある男を表す。漢語と結び付く。

悪漢、好漢、酔漢、痴漢、暴漢、好色漢、硬骨漢、正義漢、大食漢、熱血漢、
無頼漢、冷血漢、門外漢、凶漢

13. 助「すけ」

その人物の特徴を捉えて命名され、呼ぶ時の呼称として用いられる。

飲み助、寝坊助、ちび助、半助、でこ助、露助、なお助

14. 員「いん」

ある団体に属し、その活動や仕事に従事する人間を表す。基本的には、漢語と結び付く。

委員、駅員、会員、外交員、会社員、外務員、係員、客員、閣員、楽員、劇団員、学芸員、館員、官員、議員、構成員、厩務員、教員、研究員、教職員、職員、教務員、局員、組員、警乗員、甲板員、銀行員、工員、鉦員、工作員、公務員、用務員、室員、指導員、事務員、従業員、所員、署員、乗員、乗務員、審査員、船員、戦闘員、隊員、団員、駐在員、通信員、店員、搭乗員、乗組員、販売員、部員、役員、相談員

15. 長「ちょう」

ある団体・部署で、地位・身分が一番高く、それを指揮する立場の人間を表す。基本的には、漢語と結び付く。

委員長、駅長、園長、会長、係長、学長、楽長、課長、家長、幹事長、館長、艦長、機長、議長、級長、組長、局長、組合長、理事長、甲板長、校長、座長、市長、室長、社長、塾長、首長、書記長、警察署長、営業所長、船長、総長、村長、隊長、町長、班長

16. 生「せい」

主として就学中の学生、生徒を表す。多くの場合、前項には漢語を取る。

院生、学生、留学生、大学院生、大学生、学部生、寄宿生、苦学生、下宿生、研修生、高校生、中学生、小学生、在校生、実習生、司法修習生、受験生、塾生、奨学生、卒業生、同窓生、特待生、見習い生、門下生、優等生、落第生、寮生

17. 徒「と」

(1) ある宗教の弟子、門人や就学中の人間を表す。

仏教徒、キリスト教徒、門徒、信徒、生徒、学徒

(2) 仲間、同類の人間を表す。 暴徒、博徒、逆徒

(3) 罪人を表す。 囚徒、刑徒、凶徒

18. 虫「むし」

ある性癖を持っている人間を表す。相手を見下したり、嘲ったりする気持ちを含む。

泣き虫、弱虫、点取り虫

19. 公「こう」

(1) 大名・貴族や貴人を表す。

尾張公、越前公、老公、菅公、家康公、エディンバラ公

(2) 前項に短縮された語を取り、親しみの対象となっている人間を軽い蔑みの気持ちを込めて表す。

ずべ公、ポリ公、先公、いた公、アメ公、ダチ公

20. 族「ぞく」

同じ考えを持っていたり、同じ行動をする人間（仲間）を表す。それぞれの時代において新しい社会現象として登場した人達の特徴を捉えて命名されることが多い。比較的造語能力が高い。

ながら族、窓際族、ミーハー族、暴走族、竹の子族、斜陽族、社用族、太陽族、ミツバチ族、三語族、おこげ族、うなだれ族、ぶらさがり族、指示待ち族、ヒルズ族、くれない族、ホテル族、サッチョン族、雷族、六本木族、クルクル族、カイワレ族、アンマリ族、ナンパ族、3ナイ族、カニ族、親指族、車用族

21. 党「とう」

(1) 仲間を表す。

徒党、残党、悪党

(2) 嗜好を同じくする者の仲間を表す。

甘党、辛党、日本酒党、ビール党、米飯党、ご飯党、左党、和食党

22. 男

22.1 「なん」

男や息子を表す。

美男、善男、下男、嫡男、長男、次男

22.2 「おとこ」

その特徴や状態を捉えて男性を評価する場合に用いられる。若者語にも見られる。

伊達男、雨男、やさ男、毒男、するめ男、鯨男、サ行男、オシオ男、電車男、アニバ男、ナンパ男、晴れ男

22.3 「お」

ある特徴を持つ男性を表す。若者語・新語の造語法の一つで、若い女性が男性を評価する表現であるが、男性を見下して名付けられている場合が多い。

げろ男、ギャル男、ドメ男、フェミ男、ナル男、ぶさ男、ベル男、わし男、ムカ男、チャラ男、キラ男、ケミ男、ベル男、玉男、キョロ男
恥ず男、眠男などは女性に対しても使える。

23. 女

23.1 「じょ」

女や娘を表す。新語においても見られるが、用例は少ない。

少女、老女、熟女、才女、悪女、侍女、長女、次女
歴女、早稲女、鬼女、蟻女(アリジョ)、オタージョ

23.2 「おんな」

その特徴や状態を捉えて女性を評価する場合に用いられる。

雨女、男女、干物女、サバ女、かまやつ女、サボテン女、マ行女

24. 夫「ふ／ぶ」

前項には漢語を取る。

(1) 夫、男性を表す。

前夫、寡夫、情夫、病夫、匹夫、凡夫、老夫、壮夫、賤夫

(2) ある仕事(肉体労働)に従事している男性を表す。

水夫、農夫、人夫、工夫、鉾夫、坑夫、火夫、船夫、漁夫

25. 婦「ふ／ぶ」

多くの場合、前項には漢語を取る。

(1) 妻、女性を表す。

主婦、寡婦、新婦、節婦、匹婦、悍婦、妊婦、毒婦、老婦、情婦、経産婦

(2) ある職業に従事している女性を表す。

家政婦、看護婦、掃除婦、賄い婦、炊事婦、助産婦、売春婦、農婦、酌婦

26. 子

26.1 「こ」

(1) そのような性質・状態を持つ子供であることを表す。

いじめっ子、いたずらっ子、だだっ子、もやしっ子、鍵っ子、一人っ子、末っ子、ちびっ子

(2) ある土地や時代に生まれた人間を表す。

土地っ子、江戸っ子、浜っ子、道産子、団地っ子、昭和っ子、大正っ子

(3) ある仕事に従事している人間やある状態にある人間を表す。

売り子、踊り子、芸子、お針子、売れっ子

(4) ある特徴を持つ若い女性を表す。若者語に見られる造語法の一つで、マイナスイメージを持ってその言動を評価している。

ぶりっ子、がめ子、きど子、たらっ子、はえっ子、はまちっ子、いや子、けば子

26.2 「し」

(1) 子供を表す。 嫡子、庶子、末子、長子、孝子、婚外子

(2) 尊敬に値する男性を表す。 才子、君子、夫子、諸子

27. 児「じ」

基本的には、漢語と結び付く。

(1) 子供、赤子を表す。

孤児、産児、重症児、初産児、身障児、新生児、双生児、早生児、豚児、乳児
未熟児、浮浪児、私生児

(2) 若者、青少年を表す。

球児、健児、自然児

(3) 一世を風靡した英雄や、反社会的な行動を取る人間を表す。

革命児、風雲児、幸運児、流行児、反逆児、問題児

28. 嬢「じょう」

(1) 未婚の女性を表す。

愛嬢、令嬢、老嬢

(2) ある職業に従事している女性を表す。

ウグイス嬢、案内嬢、受付嬢、カウンター嬢、風俗嬢、ソープ嬢

29. 娘「むすめ」

ある特徴を持つ若い女性を表す。若者語に見られる。

にんじん娘、箱入り娘、こはだ娘

30. 君

30.1 「くん」

(1) 封建時代の領主を表す。

暗君、厳君、主君、仁君、暴君、亡君、名君、明君

(2) ある特徴を持つ男性を表す。若者語の造語法の一つで、若い女性が男性を見下して評価する表現である。

赤丸君、アッシー君、ケンタ君、パセリ君、ミツグ君、タマオ君、スッシー君

30.2 「きみ／ぎみ」

- (1) 封建時代の領主などを表す。 若君、姫君、大君
- (2) 親族名詞などに付けて、敬意を表す。
父君、母君、姉君、兄君、尼君

31. 「ちゃん」

ある特徴を持つ人間を表す。若者語・新語に多く見られ、男性を評価する場合にも女性を評価する場合にも用いられる。

あひるちゃん、イクラちゃん、ウランちゃん、オーちゃん、バナナちゃん、
ポラちゃん、リカちゃん、ひふみちゃん、しずかちゃん

32. 「さん」

その行為・状態の特徴を捉えて、擬人化する表現。

お巡りさん、お上りさん、おしゃまさん、ピーチさん、冬彦さん、マスオさん、
お隣さん、からゆきさん、ジャパゆきさん

33. 様「さま」

- (1) その行為・状態の特徴を捉えて、擬人化する表現。
午前様、池様
- (2) 相手方に対する敬称として用いられる。
よそ様、あちら様、先様、どちら様

参考文献

- 尾崎雄二郎他編(1993)『大字源』角川書店
新村出編(1991)『広辞苑第4版』岩波書店
日本語教育学会編(1982)『日本語教育事典』大修館書店
松村明編(1999)『大辞林第二版』三省堂
山田忠雄他編(2006)『新明解国語辞典第六版』三省堂
米川明彦(1998)『若者語を科学する』明治書院
米川明彦(1997)『若者ことば辞典』東京堂出版